

## 音声文字化システムに係る調査結果等について

音声文字化システムのソフトウェアについて、当事者団体や他県議会において利用されているソフトウェアの調査をした結果は次のとおりとなった。

### 1 調査対象

当事者団体及び他都道府県議会

### 2 調査結果

#### (1) 利用されている音声文字化システム

- ・UDトーク（※現在神奈川県議会で利用している。）
- ・YYProbe
- ・Pekeo（※Windowsで動作し、iPadでは使用できない。）
- ・Google音声文字変換（※単語登録ができない。）

#### (2) 音声文字化システムの課題

- ・音声文字化システムを利用している他都道府県議会において、本県議会と同様に誤変換が見受けられることが課題として挙げられており、対応として専門用語の単語登録を行うことで精度の向上に取り組んでいるとのことである。なお、当県議会でも既に同様の方法で精度の向上に取り組んでいる。
- ・変換精度については、ハードウェアであるマイクの性能に依存していると考えられるという意見もあった。この課題については、委員会会議室のマイクを12月末に收音性能の高いマイクに更新するため、改善が見込まれる。

### 3 対応方針

調査の結果挙げられたソフトウェアのうち、現在当県議会が所有している端末(iPad)で利用でき、単語登録ができる「UDトーク」及び「YYProbe」について、令和6年第1回定例会中に試行した上で、費用面等も考慮しながら、より適切なソフトウェアの導入に向けて検討する。